

つなまち

No.176
Tsunan-Town

9月定例議会:9/8~11

一般会計及び特別会計補正予算	②③
条例改正・請願・陳情・人事	④
平成20年度 決算報告	⑤~⑦
一般質問(多方面からの議論)	⑧~⑬
委員会レポート	⑭~⑮
シリーズ私もひと言	⑯

2009年10月22日発行
Contents

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。



今年の出来は？秋にんじん



夫婦仲良く里いも収穫



倒伏田も上手に稲刈り



ほぼ平年並みの作況



新規就農者が取り組む大豆生産



一面に咲くそばの花

平成
21年度

特別会計補正予算

国民健康保険 会計

補正額 ……24,661千円
総 額 ……1,058,725千円
(主な内容) 各種拠出金、支援金の確定等に伴う補正

介護保険 会計

補正額 ……78,804千円
総 額 ……1,332,897千円
(主な内容) 財政調整基金積立金等補正

老人保健 会計

補正額 ……1千円
総 額 ……4,697千円
(主な内容) 償還金精算による補正

病院事業 会計

補正額 ……4,935千円
総 額 ……1,969,827千円
(主な内容) 法定福利費増

平成21年

第2回 臨時議会

8月18日第2回津南町議会臨時会において、工事請負契約2件の締結が上程され、全会一致で可決された。

一、町営住宅（美雪町A棟）
建設工事

高床式二階建
340.79㎡

契約金額
59,335,500円

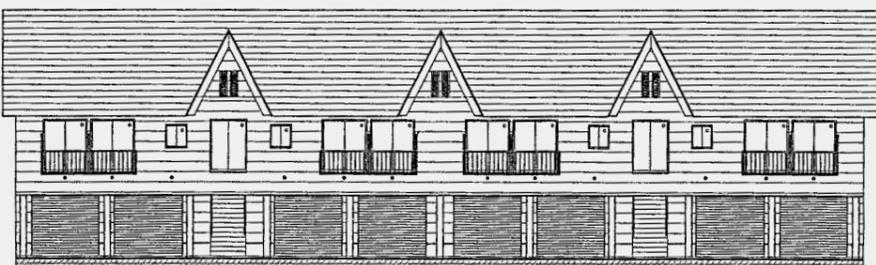
契約先
株式会社高橋木工所

二、町営住宅（美雪町B棟）
建設工事

高床式二階建
340.79㎡

契約金額
66,202,500円

契約先
株式会社桑原工務店
(外構工事含む)



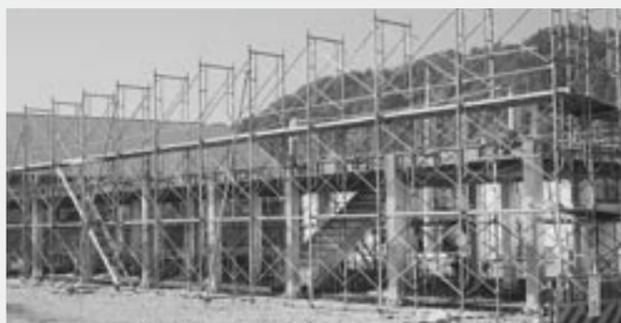
正面立面図

1階 鉄骨造り
2階 木造建築

1階
物 置

2階
和 室 6畳
リビング 6畳
キッチン 6畳
浴室、洗面
脱衣室、トイレ

工事中の町営住宅



歳 出	
総務費	21,537千円
民生費	18,224千円
衛生費	1,184千円
農林水産業費	204千円
土木費	193千円
消防費	413千円
教育費	75,056千円

歳 入	
分担金及び負担金	1,098千円
国庫支出金	34,187千円
県支出金	27,871千円
寄付金	1,000千円
繰入金	16,884千円
繰越金	21,418千円
町 債	49,096千円

総務管理費、企画費、民生費等により
歳入歳出とも151,554千円の増額により
予算総額6,222,312千円となる。

一般会計補正予算

平成
21年度

主な予算の補正内容

- ◆総務費 共聴施設改修工事費増等
- ◆民生費 子育て応援特別手当交付金等
- ◆衛生費 妊婦一般健康診査等委託料増等
- ◆農林水産業費 森林保育委託料の増等
- ◆土木費 住宅改修補助金等
- ◆消防費 消防団員雨具代等
- ◆教育費 中学校校舎整備工事費増等



子育て支援



森林保育



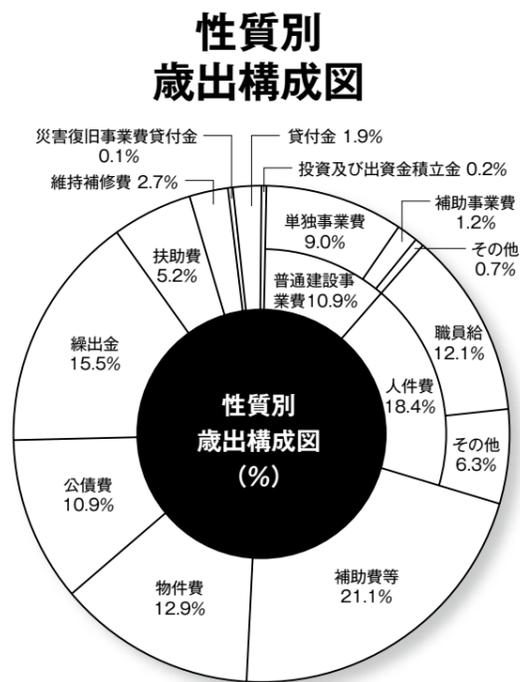
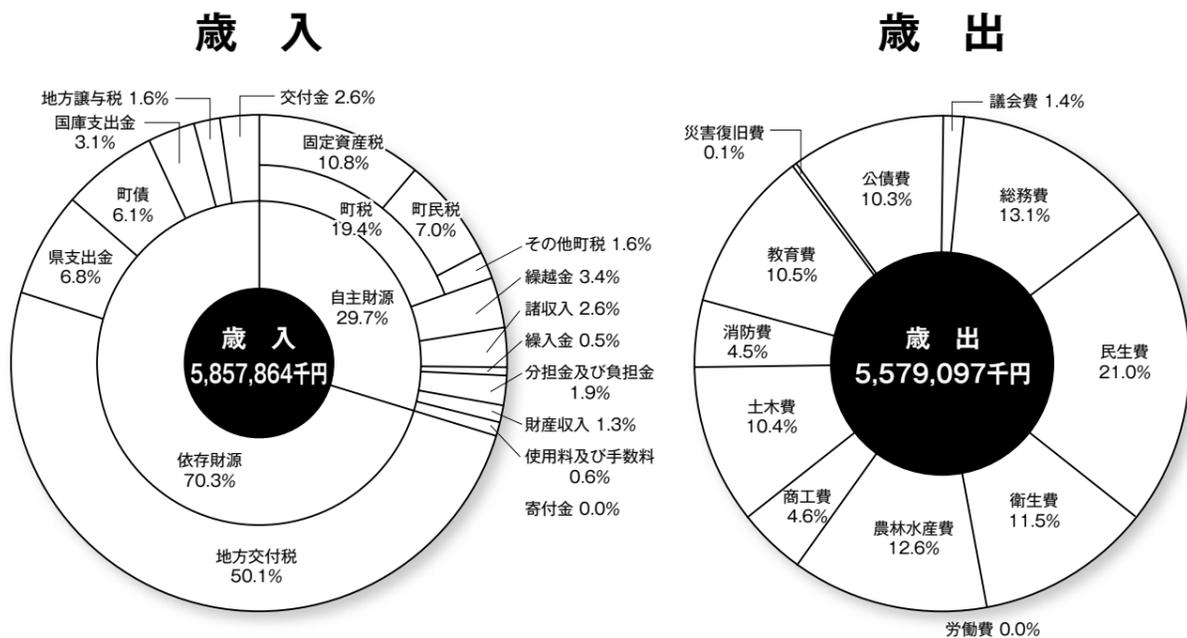
消防演習風景



アスベスト除去(津南中体育館)

平成20年度 決算 一般会計 全員賛成

55億7,909万円



町債現在高	
区分	20年度未残高(千円)
(1)一般会計	4,453,880
1.一般公共事業債	40,718
2.一般単独事業債	333,419
うち地域総合整備事業債	6,120
うち臨時地方道整備事業債	238,073
うち臨時河川等整備事業債	14,725
3.公営住宅建設事業債	128,859
4.教育・福祉施設等整備事業債	496,841
5.辺地対策事業債	62,641
6.災害復旧事業債	67,020
7.厚生福祉施設整備事業債	3,470
8.過疎対策事業債	1,423,419
9.財源対策債	63,660
10.臨時財政特別債	50,387
11.公共事業等臨時特別債	0
12.減税補填債	59,424
13.臨時税収補填債	36,964
14.臨時財政対策債	1,679,962
15.調整債	343
16.県貸付金	6,753
(2)簡易水道特別会計	360,339
1.簡易水道事業債	360,339
(3)下水道特別会計	4,606,628
1.特定環境保全公共下水道事業債	4,606,628
(4)農業集落排水事業特別会計	3,515,939
1.農業集落排水事業債	3,515,939
合計	12,936,786

条例の改正

◆津南町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

◆津南町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

◆津南町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定

【内容】それぞれの各保険料を納期限後に納付する場合の延滞金の算定方法の改正です。詳細は掲載できませんが、若干算定方法が緩和された内容となりました。

陳情

◆改正貸金業法の早期完全施行を求める陳情

【要旨】すべての人が多重債務に陥らないように、現存する多重債務者を早期に救済する施策を求める。

【結果】全員賛成で採択

◆私立高校生が学費を心配せず安心して学べるようにするために、学費軽減制度の拡充を求める陳情

【要旨】私立高校に対する私学助成が公立高校の3分の1、学費は公立の6倍にもなり、生徒・保護者の重い負担となっている。公費（私学助成）を増額・拡充する施策を求める。

【結果】賛成多数で採択

その他 議決案件

◆町道の認定

西ノ坪下線・西ノ坪中線（中深見乙）地内2路線

◆財産の取得

マイクロバス（29人乗り）1台。

津南町地域公共交通の確保を図る。



人事

津南町固定資産評価審査委員会委員に桑原京子氏



桑原京子氏

5期15年の間就任いただきました。滝沢勝枝氏の後任として、桑原京子氏（貝坂）が同意されました。任期は1期3年で今年9月26日からとなります。

平成20年度 決算

事業会計を全員賛成・特別会計を賛成多数で認定

津南病院事業会計 平成20年4月1日～平成21年3月31日

項目	円	円	円
1. 医業収益			
(1) 入院収益	633,078,256		
(2) 外来収益	882,719,193		
(3) その他医業収益	77,200,418	1,592,997,867	
2. 医業費用	1,885,795,137	1,885,795,137	
医業損失			292,797,270
3. 医業外収益			
(1) 補助金	256,794,939		
(2) 患者外給食収益	1,118,840		
(3) その他医業外収益	10,516,152	268,429,931	
4. 医業外費用			
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	9,550,741		
(2) 患者外給食材料費	1,310,085		
(3) 消費税	2,598,000	13,458,826	254,971,105
5. 介護保険収益			
(1) 介護保険収益	542,620	542,620	
6. 介護保険費用			
(1) 給与費	280,849		
(2) 経費	35,303	316,152	226,468
経常損失			37,599,697
7. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	70,441	70,441	
8. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	660,471	660,471	590,030
当年度純損失			38,189,727
前年度繰越欠損金			1,113,722,505
当年度未処理欠損金			1,151,912,232

特別会計

会計名	区分	決算額(千円)
国民健康保険特別会計	歳入	1,071,023
	歳出	1,029,358
	歳入歳出差引残額	41,665
老人保健特別会計	歳入	179,443
	歳出	178,854
	歳入歳出差引残額	589
後期高齢者医療特別会計	歳入	116,061
	歳出	113,940
	歳入歳出差引残額	2,121
介護保険特別会計	歳入	1,266,335
	歳出	1,143,614
	歳入歳出差引残額	122,721
簡易水道料特別会計	歳入	145,902
	歳出	133,325
	歳入歳出差引残額	12,577
下水道事業特別会計	歳入	641,523
	歳出	621,305
	歳入歳出差引残額	20,218
農業集落排水事業会計	歳入	287,088
	歳出	282,395
	歳入歳出差引残額	4,693

介護保険特別会計

歳入12億6,633万円(前年比6.5%増)、歳出11億4,361万円(前年比3.6%増)で差引き1億2,272万円の繰越。

保険料収入は1億4,747万円(前年1億4,913万円)で、1.1%の減である。保険給付費は10億2,506万円(前年9億8,164万円)で前年比4.4%、4,342万円の増となった。受給者数は月平均597人で前年比3.8%、22人の増、受給者率は14.7%(前年14.1%)と伸びている。高齢化の急激な進行に対応できるように、なお一層の制度充実に努力されたい。

病院会計

平成20年度決算は、一般会計からの補助金2億5,648万円(内運営費2億1,000万円)を加えた総収益で前年度比0.44%の減、総費用では前年度比1.94%の減となり、差し引き3,819万円の当期純損失である。純損失額は前年度に比べ2,931万9千円の減となった。

病院経営は診療体制の充実、安定と患者サービスの充実、

町債

町債の新規発行額は、一般会計で3億5,839万円、前年比8.368万円の減(前年比18.9%減)、特別会計では、簡易水道会計で550万円、下水道事業会計で前年比1億4,790万円減(前年比56.0%減)の1億1,640万円の発行であった。町債の期末累計残高は、一般会計で4億5,388万円、簡易水道特別会計で3億6,033万円、下水道事業特別会計で4億6,622万円、農業集落排水事業特別会計で35億1,593万円、合計129億3,678万円で、前年同期比3億4,927万円減(前年比2.6%減)となった。

町債

地域医療機関との連携が最重要課題であり、高齢化が進む町民が健康で安心して生活できるように、引き続き医師の確保と常勤化に努め、「地域に信頼される病院づくり」になお一層の努力を念願する。

討論

一般会計賛成討論
根津 勝幸 議員

自主財源が前年比を下回る情勢の中、町民の一番の情報源となる広報無線の更新が前倒しで完了した。

民生においては要援護世帯の方への除雪委託費補助をはじめ、原油高騰による暖房費の補助など少ないながらも心遣いがなされた。

保育においては居残り保育時間外手当が80万円であったが時間外でも園児の面倒を見てくれる保育士さんの努力と子どもを時間外まで安心して預けられるという親との間の今後益々大切な施策になると思う。

また当町の歴史に残るトキめき国体バイアスロン大会が開催され雪の上からも当町のアピールができた。

一般会計賛成討論
藤ノ木 浩子 議員

20年度は、学校統廃合計画

監査決算意見書

一般会計

歳入58億5,786万円(前年比7.951万円、1.4%増)、歳出55億7,909万円(前年比377万円、0.1%減)と歳入歳出ともほぼ前年並みとなった。

歳入で前年比増となった主なものは、地方交付税1億9,202万円(前年比7.0%増)、国庫支出金6,056万円(前年比49.0%増)、分担金負担金2,483万円(前年比28.4%増)、等であり、歳入での減少は町債8,368万円(前年比18.9%減)町税5,418万円(前年比4.6%減)、繰越金4,051万円(17.2%減)、繰入金2,135万円(前年比41.8%減)、県支出金1,097万円(2.7%減)等である。

歳出では民生費1億3,456万円(前年比13.0%増)、教育費7,281万円(前年比14.2%増)、等が増で、衛生費1億717万円(前年比14.3%減)、土木費7,137万円(前年比11.0%減)、公債費3,475万

円(前年比5.7%減)等が減額となった。

歳入の増減理由としては、後期高齢者医療給付費負担金及び同特別会計への繰入金創設による民生費の増、冬季国体の開催や学校校舎耐震診断実施等による教育費の増がある。また、老人保健会計への繰入金の減による衛生費の減、町道改良舗装工事の減、小雪による除雪対策費の減等による土木費の減等となっている。

一般会計の自主財源が29.7%(前年比3%)、17億3,843万円、依存財源が70.3%(前年68.7%)、41億1,942万円であり、自主財源が前年を1.6ポイント、6,794万円下回った。これは景気低迷等による町税の減や、農業振興費交付金など国庫支出金の増額が要因である。地方交付税は、対前年比7.0%の増で歳入全体の50.1%(前年47.5%)を占めており、この増減が財政運営に多大な影響を及ぼしている。町債発行高は44億5,388万円(前年45億9,379万円)で前年比1億3,991万円の減となった。公債費の支出は前年比3475万円の減額となり、構成比率も10.3%(前年10.9%)で前年をわずかに下回った。

もよい健康な人の増など様々な要件により利用者の減がみられた。しかし一般会計からの繰入を加えた総利益は前年度比の減にもかかわらず、総費用は経費の圧縮努力などにより前年度比の減であり、差引損失は前年度比56%で抑えられたことは、職員一丸となった努力と認め賛成とする。

介護保険会計
反対討論
藤ノ木 浩子 議員

介護保険会計は、増え続ける保険料負担をこのままにしておけない。我が党は25%まで減らした介護への国庫負担を50%まで戻すよう求めている。全額自己負担の食費、居住費などの利用者は、無料を目指す提案をしている。

338人もの特養待機者の問題では、特養の増設が必要であるとともに、在宅介護をいかに支えるかが課題である。新予防給付ができたことで、要支援の認定者が増えたり、更には、認定基準変更の主眼が、厚生省の給付抑制施策であることが暴露された。構造改革路線のもとで、制度改悪が現場を混乱させ、利用者の生活を壊わしている。改善を求めむ。

津南醸造の経営改善について

町長…任期中に解決したい

高橋 孝男 議員

酒蔵の継続経営に必要な対策は

問 町長は三月議会で「責任を感じている。任期中に何とかする。」と答弁した。また、今は保証人だけにしわ寄せがいつてくることをどう思うか。

町長 津南醸造役員、JA役員、直販センターが中心となり営業努力している。自分の任期中に負債整理に決着をつけたい。

副町長 調停の問題について細部を承知していない。町が関与していない金銭問題に介入すべきでない。

問 新十日町病院の建設は地域中核病院として施設設備の充実が必要。県の22年度予算化するため、十日町市と連携し地元対応を早急にされたい。

町長 中核病院としての再生は願望である。場所の問題は十日町市が鍵を握っている。内政干渉にならないよう連携に努めたい。

問 中津川運動公園整備検討のその後について、県地域整備部との連携、関係団体の調整、町の対応予算見込み、学生等の合宿利用等推進に向け検討しているか。



歩行者の安全対策を早急に(旭町通り)

町長 工事用道路廃止の検討、駐車場の確保等スポーツ振興協議会及び、県振興局と協議を行っている。国交省が進めている床固工には特に問題は無いようである。

問 国道整備促進、旭町通り改良のための用地問題は。

町長 予算の要望はしている。

建設課長 用地は期成同盟会長にお願している。現在の状況について明確にはできない。



苗場木材加工を見学する芦ヶ崎小「緑の少年団」

雇用の場としても工場設立は必要

問 林業は輸入材に押され衰退してきた。しかし地球の環境やCO2の問題など現在林業は見直されている。今後期待される分野である。集成材は今後需要が伸びると思う。津南には森林組合に製材工場があり、また隣接してプレカット工場もある。集成材工場設立によって一貫性が成立する。素性が悪い

いといわれる津南の杉も生かせると思う。雇用の確保と地場産業創設は一石二鳥と言える。町長の考えを伺う。

町長 間伐材の利用促進については当森林組合を中心にフォレスト加工協同組合を三魚沼全体で設立、間伐材の製品化や付加価値の向上に努めている。しかし厳しい運営状況を強いられている。集成材への加工については苗場木材加工協同組合と連携で集成材の利用について検討し、販路開拓も検討しているが、検討の結果は原木材のコスト面、さらに設備投資が数億円になるなど計画は難しい面がある。しかし、間伐材利用については、バイオマスの観点からも検討が必要と思う。

部分調整水田は問題が多く廃止すべきだ

問 数年、調整水田が転作の一例として行われてきた。確認作業がなかった事もあるが不公平な面がある。一筆全面積以外は廃止すべきだ。

町長 転作達成に農家を取り組みやすい面もあり、制度として認められていく。確認作業や周知を徹底していく。

減反の現地確認実施結果は

町長…一部で面積不足が見られた

根津 勝幸 議員

現地確認により不公平感除かれたか

問 昭和44年以来水田減反政策において米の生産調整が行われてきているが、町内平地地域においては32%の減反率である。給与所得者が3割賃金カットされたらどうなるのか。水田生産調整減反の現地確認が行われたが結果はどうであったのか、また県内間調整の効果をどのように考えるか伺う。

町長 調整水田や青刈り稲の一部で面積不足が見られたが、不足面積は是正をした。

来年度以降は協議会で正式決定されるが、現地確認は必要と考える。平成19年産米が7月の時点で前年比78.5%の販売状況である。生産と販売の両立を図りながら魚沼コシヒカリの価格に見合った品質の米を生産し、県間調整で生産数量を増やすことが重要課題と思う。

酒米の五百万石を多用途米扱いにできないか

問 町内に酒蔵が2社あり、双方町内の五百万石を求めている。コシヒカリ



減反政策を新政権にどう訴えるか

鳥獣被害防止特措法の活用を

町長…活用も考えて行かねばと思っている

河田 強一 議員

特措法により有効な被害対策を早急に

問 鳥獣被害防止特措法を利用し有害鳥獣被害の防止に努めよ。

町長 この事業を活用することにより交付金等々の制度もあり、活用を図っている市町村もある。鳥獣被害拡大のなかにおいては、このような特措法の活用も考えて行かねばと考えている。

問 猟友会メンバーも高齢化等で減少している。狩猟を行うには免許が必要であり、担い手の育成は行っているのか。

町長 喚起をしながら鳥獣被害を防止するためにも育成を図っていくことも重要。猟友会の方々と協力しながら育成に努めていかなければと思っている。負担の軽減も町として出来るだけの支援はして行かなければならない。

問 特措法にある被害防止計画を立てて頂きたい。

町長 農水省の補助事業はこの特措法を計画通りすることが前提となっており、交付税の対象にもなっている。電気柵等の要望が出てくれば特措法の計画も検討しなければならぬと思う。どちらにせよ追い払い行為が対策とす



ついに電気柵の設置

れば一番重要と思われる。町では難しく、関係集落・栽培者の皆様の協力の下に対策を練っていくことが重要である。

具体的に対策を行うことについてはご相談を頂ければ、私どももその支援について国の支援を含め出来るところは対策を講じたい。

自然保護等の観点もあり、役場内部においても連携を取りながら、特措法の計画樹立については検討をしたい。

ひまわり広場駐車場整備を早期に

町長・農地転用が伴い困難

福原 照男 議員

問 開園20年目、津南観光のメインとして全国的に認知されたひまわり広場に、舗装された駐車場が必要でないか。
町長 ひまわり広場は幅広く認知されている。しかし、駐車場舗装には農地転用が必要となり困難である。観光協会等と雨対策について今後も協議してゆく。

柵の木被害対策は

問 町の対策と国・県・近隣市町村の取り組みはどうなっているのか。
町長 対策は協議したが対処方法がない状況。高齢大樹木が被害にあっているが予防的駆除となると経費的に困難。被害木でも若木を中心に70%は生きると言われている。

新型インフルエンザ対策は

問 町内小・中学校・中等教育学校並びに保育所の閉鎖、閉所基準については。
教育長 学級閉鎖は欠席率10%、学年閉鎖は半数、保育所は保護者の理解によるものとする。



利用者にやさしい駐車場の整備を

不登校児童数は

問 PTAでは「いじめ根絶」を呼びかける中、当町での不登校児はどうなっているか伺う。
教育長 19年度小学生2名、中学生13名、20年度小学生1名、中学生13名、今年度小学生1名、中学生3名。いじめでの不登校と判断することは簡単ではなく、家庭・地域・学校での心遣いで無くせるものであり、声かけを願いたい。

指定管理者制度導入効果はどうか

町長・町民の健康維持管理に多大な貢献

伊林 康男 議員

民間への業務管理運営委託で効率化が図られたか

問 指定管理者制度の導入は多様化する住民ニーズにもとづき、効果的、効率的な施設の管理運営により財政支出の削減をすると共に、住民サービスの向上を図ることである。民間事業者に運営を任せ、当該法人が持っている幅広い企画やネットワークを活かすことにより、物流や人的交流の増大による地域経済の拡大が期待されるが、その効果はあったか。
町長 健康増進施設であるクアハウス津南、及びサンビレッジの運営管理業務を平成18年4月から社会福祉法人「苗場福祉会」を指定管理者として、5年間委託契約を締結した。施設の維持管理業務の他に町は健康長寿の町づくりを目指していることから、寝たきり運動事業として、水中運動教室を実施するなど、独自の事業にも取り組み町と指定管理者と双方で町民の健康管理増進につとめている。健康増進施設として、法人独自の介護予防等活用をいただき施設の利用目的に叶った利用が図られており感謝したい。

サンビレッジの有効活用と利用料金について

問 財政の逼迫している中で、ある程度の受益者負担はやむを得ないが、設置施設とその利用目的、趣旨を十分に勘案した、料金設定を指定管理者をお願いしていただきたい。
町長 ゲートボール連盟の皆さんが、ゲートボールを通じ健康管理増進に努めていただき、国保・介護保険等給付が少なく済んでいる。今後において指定管理者と協議して出来る限りご期待にそいたい。



大勢が利用しやすいサンビレッジに

柵枯れ調査とそれによる災害防止は

町長・危険性のある箇所は対応する

滝沢 茂光 議員

まとまって枯れると土砂崩落の恐れはないか

問 山全体が被害を受けた所もある。国道405号では大木が道路に覆いかぶさる形で枯れており、いずれ倒木する。観光客等への直撃も心配される。河川敷や石坂トンネル入口の真上でも、まとまって枯れており早急の対策を願う。
町長 危険性のある場所を示していただき対応したい。

建設課長 国道については、県に要請したいので場所を教えてください。

石坂トンネル付近については確認し対応したい。



国道405号(秋山郷)で危険な柵枯れ

津南醸造の公金貸付後の現状は

問 広範囲に発生している所では1haあたり50万円の全額助成事業もあるが、町内に啓発し取組むべきと考えるが、地域振興課長 補助事業については確認して検討したい。
問 痛烈な批判の中、3月議会で経営再建に不可欠と公金貸付を行ったが、経営は改善されたのか。
副町長 売上前年度比16%の伸びがあるが、この程度では回っていないとみるのが実態である。

問 水質、米質、立地環境等全て好条件の中、近代施設で優秀な杜氏に恵まれ、次々と金賞等を受賞、酒造りでは素晴らしい成果を上げている。一方では販売不振で赤字続き、自転車操業にも及ばない現状は買い手市場の昨今、真に営業技術力が問われている。営業マンの養成こそ大事である。

副町長 指摘のとおりで会社やJAとも協議し選任職員について考えたい。

問 販売協力は。
副町長 他の酒蔵もあり慎重に。

医療費無料の自治体に学べ

町長・無料化は財政上、困難な課題だ

藤ノ木 浩子 議員

75歳以上の医療費無料化を

問 高齢者の医療費無料化は国の制度として73年から10年間実施されたが、自民党が老健法を強行し、無料化を廃止した。以後、医療費の負担増が連続している。06年自公政権が医療改悪し、後期高齢者医療制度が実施された。高齢者を大切にしない政治の怒りが選挙結果にあらわれたものと思う。我が党は75歳以上の医療費無料化を訴えている。町長はどのような見解か。
町長 皆保険制度を堅持するためには、公平公正な負担を担うことが責務と思う。75歳以上の医療費の一部負担は1億3千万円余りだ。町独自策として無料の実現は財政上困難な課題である。

問 東京都日の出町は4月から1、600人の高齢者医療を無料にした。予算は7、500万円。人間ドック受診料も無料だ。
長野県原村は、国が始めた無料化を引き続き実施し、30年以上続いている。65歳以上2、600人対象に7、460万円の予算で実施されている。お年寄りの負担は限界だ、無料化を検討し



「こんにちはお元気ですか」

てはどうか。

町長 今日、いろんな面で国民が不安を感じている。新政府の今後の推移を見守りながら、町民の健康と安心の構築を図ってまいりたい。

町の業務委託契約に違法性はないか

町長…違法性はないと考えている

藤木 正喜 議員

社会保険・労働保険の加入を

問 今年度、町との業務委託契約を結んでいる学校用務員、調理員の契約内容を確認したところ各個人事業主との契約なので社会保険、労働保険の加入は必要ないとの事であるが、契約内容からしてあきらかに労働基準法9条に定める「労働者」の範囲に入るわけである。民法623条における労働契約の対象の場合は社会保険（厚生年金・健康保険）、労働保険に加入しなくてはならないはずである。

町長 20年以上前から社会保険、労働保険の適応外として契約を締結しているが、自治体が偽装委託契約を行っていると思われる現状をどう思っているのか。

町長 学校給食調理の処理については特定業者であり、すなわち個人と締結している。このため業務委託の場合は社会保険の加入は困難である。

副町長 今後監督官庁と話し合いはするが、基本的には違法性はないと考えている。



おいしい給食を「ありがとう」

高齢者に優しい総合交通体系を

問 長年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者が瞬時に加害者になる状況もありえるなか、高齢者の積極的な社会参加と健康の維持、生きがいのある生活を補助するためにも高齢者に優しい交通手段を検討すべきではないか。

町長 老人会、社会福祉協議会等々を通じて啓発活動を行っている。本町に適した交通体系を作って行きたい。

運営を委託している町有施設の今後は

町長…今後の施設のあり方を早急に検討する

半戸 哲郎 議員

廃止、払い下げ等の考えは無いか

問 運営を委託している町有施設について、現状のままで良いと考えているのか。民間に払下げや施設の廃止は検討されていないのか。

町長 町有施設は建築後、年数を経過しており、修繕費が嵩んでいるのは指摘のとおりである。財政的にも厳しいものがあり長期的展望にたつて今後の施設のあり方を早急に検討しなければならぬ。払下げについては、具体的な話があったら検討する。施設の廃止はいまのところ考えていない。

町独自の企業融資制度を創設できないか

問 町内企業を救える融資制度を町が中心となって創設できないか。又、つなぎ資金の利用はどの程度か。

町長 ささまざまな国県の融資制度がある中で、今多く利用されている新潟県中小企業融資制度が、融資要件も緩和され信用保証料の補助制度もあり、利用しやすい融資制度であるので積極的に活用願いたい。



これからどうなるのか町有施設

地域振興課長 つなぎ資金の利用状況は現在2件である。

問 緊急雇用対策予算が計上されたが執行状況は。事業の成果が見えないが積極的に事業活用しているのか。

町長 緊急雇用創出事業は21年度14名を雇用し、22年度は11名、23年度6名の雇用を予定しているが募集しても応募がない現状である。ふるさと雇用再生事業は23年度まで継続する。

津南ブランドの確立に悠久の歴史を生かせ

町長…今後の課題として受けとめる

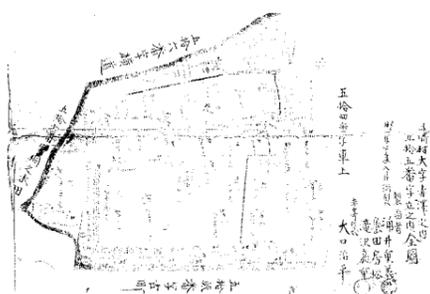
大島 知美 議員

これからのブランド化は歴史の活用が是非必要

問 津南において縄文遺産だけでなく中世の遺産があると聞いたが、それはどんな遺跡か。

町長 中世の遺跡として赤沢に赤沢城があり、さらに谷内・岡方面に藤原の流れの五りんどの塔など様々な遺跡が残っているがそれをどのように活用するかという事には至っていない。

問 今の時代、ブランド確立には史実が重要視されている。又住んでいる人達の意識高揚にも大切と思われるがいかがか。



新田義貞城跡地

教育長 これまでの津南町では文化財の保存・展示はしてきたが、町づくりの視点としてしっかりと文化、遺跡を位置づけた活用が重要ではないかと考える。

問 これからの町づくりの中での事業としての考えは。

町長 津南町の誇れる遺跡・人材の足跡をたどりながら、温故知新、相像として見習い、子供達のためにも語りべが必要でその発掘もしたい。

グリーンピアの老人保健施設の建設は

問 今現在建設は閉ざされているような話を聞いたがどうか

福祉保健課長 福祉施設の計画は一時中断していると聞いている。

副町長 断念ではない。まず現在の施設を主眼において経営を重視し、時期がきたら取組む姿勢に変わりは無い。

問 今回貸付け料を三千万に減額したが今期の見直しは。

副町長 昨年末の降雪が予定より遅れ最初のもくろみよりくるつてきたが、収支的にはかなり改善されてきている。

衆議院選挙の結果についての見解は

町長…生活不安に対する無血革命だ

大口 武 議員

マニフェストについての見解は

問 私たちは、この度の選挙では「自公政権を退場させよう」と訴えてきており、民主大勝、自公惨敗を日本の政治にとつて前向きな大きな一歩と歓迎しているが、町長の見解を伺う。

町長 無血革命が起きた。人間の「生老病死」に不安感が蔓延し革命的な結果になったと認識している。マニフェストについては、高校の無償化は高く評価し実現化を希望する。子ども手当支給は5、5兆円とされる。歓迎すべきことと思うが財源は確かか。農業戸別所得補償は兼業農家も対象にすることが農業と農村を守ることにになり、再生産が保障されることは高く評価。

問 「日米FTA」農業を工業製品と同列に論ずるべきでない。絶対反対である。「憲法改定」自らの体験からも9条は必要であり、平和こそ絶対である。国際貢献は必要だが、ありようがあるのではないか。衆議院比例定数削減では、削減には反対である。益々地方の声が届かなくなる。

問 消費税導入後21年間で消費税収は



実行できるかマニフェスト

213兆円、法人3税の減収は183兆円で消費税は事実上、大企業減税の財源となり、又この間社会保障も大幅に後退した。増税反対、食料品非課税を主張された。

町長 国の8百〇千兆円に及ぶ借金をどうするのか、社会保障の財源はどうあるべきか政党は責任をもって示すべきだ。税体系の見直しが必要だと明快に示し国民を納得させるとなれば安心感のある政治を行うべきである。

Committee ▶▶▶▶ 委員会 レポート ◀◀◀◀ Report

産業建設常任委員会

キャビア生産とプレカット事業で地域振興

岩手県に県外視察

●委員長 河田 強一

目的 チョウザメの養殖に成功し、様々な食材に利用され地域振興への取り組みについて。釜石市は新日鉄の城下町でしたが、産業の冷え込み、合理化で年々低迷していました。その様ななか、国の支援を受け高級魚の養殖を6年間、10億円の予算で研究してきました。平成7年に第3セクターを設立し、淡水でチョウザメ、海水でまつかわ（カレイの種類）の養殖を始めましたが市場での販売がうまくいかず、19年に市内有志から1億5千万円の出資をお願いしてきま

釜石キャビア株式会社



チョウザメの卵キャビアは宝石と言われる

委員会では7月15日〜16日にかけて岩手県釜石市の釜石キャビア(株)と陸前高田市のけせんプレカット事業共同組合を視察してきました。

目的 東北最大級規模のプレカット、集材、製材等全てを集約した木材事業体として独自の「けせん式・林業循環型システム」について。

けせんプレカット事業共同組合



自動化されたプレカット工場

した。今後黒字化までには5年ほど必要との事です。チョウザメの稚魚を捕ることには成功しましたが、産卵したあと孵化させる事が難しかったようです。また、雌雄の判別も難しく多大な研究と技術が必要との事でした。わが町は湧水、農業用水等豊富ですが、かなりの研究等が必要であり取り組みには問題がありそうです。

91社を超える林業関係者、建設業者、工務店で構成し、森林所有者からプレカット工場までが参画する事で、山を生かし地域を生かす林業循環システムの一翼を担い、高品質で低コストの製品供給を目指して、プレカット加工、パネル加工、造作材加工までの一貫体制を実現した工場でした。また、廃材を利用してのバイオマス発電や木材乾燥も行っていました。わが町も広大な森林を持ち、国県等の事業を取り入れ森林整備を行っておりませんが、間伐材の有効利用がなかなか進まない現状のなか、集材加工は今後検討しなければならぬ課題だと思われまます。



工場内にあるバイオマス発電施設

委員会では7月7日新潟県土木部地域振興局地域整備部へ要望活動をしました。

1. 一般国道117号線・大倉バイパス早期完成
23年度完成を目指し、12月に貫通予定
2. 一般国道405号線
反里口〜見玉間早期改良、見玉〜大赤沢間早期改良、大割野地内歩道整備は早期整備難しい
3. 主要地方道小千谷十日町津南線整備促進
豊船橋〜卯ノ木間早期完成、穴山地内早期完成
4. 一般県道加用今新田津南停車場線整備促進
赤沢地内早期完成、相吉〜城原間早期完成
5. 一般県道中深見越後田沢停車場線整備促進
所平地内早期改良
6. 一般河川釜掘川河川整備促進
貝坂地内早期完成

総文福祉常任委員会

埼玉県「吉見町立東第二小学校」を視察

豊かな心を育む教育の推進

●委員長 伊林 康男

委員会では7月1日〜2日埼玉県吉見町立東第二小学校と小鹿野町国保小鹿野中央病院の視察研修を実施しました。

吉見町立東第二小学校の教育方針と概要

吉見町は埼玉県のほぼ中央に位置し、平成21年5月1日現在、人口21,954人、面積38.63平方キロメートルで、貴重な史跡でも注目されている町です。

教育費と重点教育

教育費総額は7億5,2653千円で一般会計に占める割合は13.6%であります。豊かな心を育む教育の推進として「小規模校のよさを生かした体験活動の実践」として、1、縦割り活動を通して、友達を思いやり、お互いに助け合ったり支え合ったりする仲間づくりを目指す体験活動の推進。
2、自然とのかかわりをおとして自然の恵みに感謝する気持ちや育む体験活動の推進。
3、文化や伝統に親しむ交流活動をおとして、豊かな心を育む体験活動の推進。



学年を超えた活動で社会性の育成を

を育む体験活動の推進。
4、ボランティア活動をおとして、社会奉仕への素地を養う体験活動の推進。
5、教科・領域等をおとして、豊かな心を育む教育の推進。本校は生徒数65人と小規模校だけに、縦割り活動を重点にした教育を実践。
◆交流給食 ◆全校遠足 ◆農業体験 ◆自然体験 など、全校がグレート・ファミリーのような仲の良さで学んでいます。

国保町立小鹿野中央病院の特徴と概要

小鹿野町は、人口14,000人、面積170平方キロメートル、自律の宣言町。町立病院をかかえ、わが津南町と類似点が多い町です。「全国、小さくとも輝く自治体フオーラム」を開催したり、健康宣言の町として、小鹿野中央病院を核とした、地域包括支援センターを立ち上げ、医療費も県平均よりも相当低水準になっています。また小鹿野歌舞伎の鑑賞が盛んで芸能文化の薫り高い町です。



小鹿野町長を交えて懇談

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムでは先進地の多くの医療が中心になり推進されていますが、小鹿野町では保険と福祉から発信し確立されたことが大きな特徴です。平成10年には養護老人ホームの中に在宅サービスの充実・連携をより強化するため総合保健福祉センターを開設し、その中に在宅介護支援センター・ヘルパーステーション訪問看護ステーションが配置され、保健と福祉が主となる行政指導の地域包括ケアシステムの第一歩を踏み出しました。平成12年介護保険導入時にはこれらが直営で対応し、スムーズなサービスの利用に繋げることが出来たことでした。

シリーズ・町民の声



私もひと言

「きれいな町づくりをめざしましょう」

赤 沢 滝 沢 歩 惟 さん



先日、出かけたときのことで。店を出ると、前方から60代くらいの夫婦のような二人連れがやって来ました。男性はたばこを手にしていました。すると、何とそのたばこをすぐ足元の側溝へ落としたのです。ショックでした。それを見て何も言えない私も私ですが、隣にいた女性が何も言わないことが信じられませんでした。たばこだけではありません。車を走らせていると、コンビニの大きな袋が道路の真ん中にありました。前を走っていたトラックが踏んでしまい、ゴミは散らかってしまいました。私の車や後続の車もそれを踏んでしまい、辺りはゴミだらけになってしまいました。路肩などには、空き缶

やペットボトル、お弁当などのゴミが捨てられていることもあります。捨てている人は何を考えているのでしょうか。小さい頃から、ポイ捨てはいけないと習ってきたはずですが。環境破壊につながることも何らかの形で耳にしていると思います。捨てられたゴミを片付けているのは、捨てた人ではありません。自分のゴミを自分で捨てることすらできない大人がいるのです。そういう人たちの意識が少しでも変わるような町づくりをしていただけたらと思います。そして、大好きな津南がこれからは自然豊かで美しい町であってほしいと思います。

津南町に住んで思うこと

谷 内 戸 田 貢 輔 さん



私が、新規就農者として津南町へ移り住んで6年が経ちました。その間、家族もでき地元の方々の温かい支援のおかげで、現在楽しい日々を過ごさせていただいております。時には厳しくご指導を受けることもあります。農業の奥深さ、収穫の喜びを実感しています。津南に住むようになって、まだ不慣れなとき近隣の皆様から気さくに声をかけていただき、人と人とのつながりの大切さをあらためて学んだように思います。子どもたちも元気にあいさつをします。横断歩道を渡り終えたとき「ありがとうございます」また、道ですれ違うとき「こ

んにちは」この何気ないあいさつに気持ちも和らぎます。近年、人と人とのつながりが薄くなってきていると言われていますが、このあいさつが続く限り、そのようなことはないと思います。ここには、四季折々のすばらしい自然もあります。このような環境の中、子どもを育てられることは、今後の成長にとって大変良いことと思っています。この町が将来もっと発展していても、あいさつのできる素直な気持ちは継続していつてもらいたいと強く感じています。



ユリの出荷作業に大忙し

政権が代わり、一事が万事に期待と不安の幕開けとなった。しかし、私達は日本一の大河信濃川の如く、台風や大雨にもたじろがず、とうとうと流れ、大きな川の流れを変えないことが大事である。数十年に及ぶダム建設の計画が一夜にして中止となる。地元の水賛成反対もあろうが、その水を利用する計画であった下流域の賛成意見はどうなったのか。ダム建設の中止で国の大きな予算を捻出するのはいいが、大倉トンネルのような小さい工事に匹敵するところからは予算を削らないで欲しいものだ。しかも早期完成を望む。町の皆さんと共に要望していく。(勝)

編集後記

